

第2学年「平行と合同」単元指導構想図

- 三角形の決定条件（小5）
- 図形の合同（小5）
- 平面の図形（中1）

基本的な平面図形の性質を帰納的・類推的に見だし、平行線の性質や三角形の合同条件などを基にしてそれらを演繹的に確かめていく論理的な考察ができるようにする。

- 三角形と四角形（中2）
- 相似と比（中3）

<知識及び技能>

- 対頂角，同位角，錯角
 - 対頂角の性質
 - 平行線であるための条件
 - 内角，外角
 - 三角形の内角と外角の性質
 - 多角形の内角の和
 - 合同
 - 三角形の合同条件
 - 平行線の性質
 - 多角形の外角の和
 - 合同な図形の性質
 - 証明，仮定，結論
- 適切な数学の用語や記号を用いて構成要素の位置関係や相等関係を表す。
- 数学の用語や記号を用いて表された図形の構成要素の位置関係や相等関係を読み取る。
- 図形の性質を用いて角の大きさや辺の長さを求める。
- 命題について，すでに学んだ図形の性質を用いて仮定から結論を導くよう，適切な表現を用いて書き表す。

<学びに向かう力，人間性等>

- 今までの学習内容を根拠として，図形の性質を説明しようとする。
- 日常生活やこれからの学習に生かそうとする。
- 振り返りから自己評価・改善をする。

数学的な見方・考え方

- いくつか調べて予想する
- 同じように考える
- 筋道を立てて考える
- 考えやすい条件にする
- 特別な場合を考える
- いつでもいえるように考える
- まとめて1つとみる
- 条件を変えて考える
- 多面的に考える
- 根拠をもとに説明する

<思考力，判断力，表現力等>

- 基本的な平面図形の性質を見だし，平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明すること。
- 三角形の合同条件などを基にして三角形の基本的な性質を論理的に確かめたり，証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。

第2学年 第4章 平行と合同 単元指導計画

時	学習内容	知識・技能	思判表	主体的な態度	評価方法（記録）	指導に生かす評価（行動観察）
1	いろいろな角	知①				・対頂角の意味について理解している
2	平行線と角	知①				・同位角，錯角の意味を理解している
3	三角形の角		思①			・三角形の内角の和について説明ができる
4	図形の性質と補助線		思①	態③	態③：ノート	・説明に合う補助線をひくことができる
5	多角形の内角		思①			・多角形の内角の和について説明できる
6	多角形の外角	知②				・多角形の外角の和について説明できる
7	図形の性質の調べ方		思①	態③		・くさび形の図形についての性質を見いだすことができる
8	星形の図形の角の和		思①	態①	態①：ノート	・星形の図形について調べることができる
9	たしかめよう	知①②	思①		知①②思①：小テスト	
10	合同な図形	知③				・合同な図形について理解している
11	三角形の合同条件	知③				・三角形の合同条件について理解している
12	合同な三角形と合同条件		思②			・合同な三角形を見つけることができる
13	三角形の合同条件の使い方		思②	態①		・三角形の合同条件を使うことができる
14	仮定と結論	知④				・仮定，結論の意味を理解している
15	証明のしくみ	知④		態①	態①：ノート	・証明のしくみについて理解している
16	直接図ることのできない距離		思②	態②③		・三角形の合同について理解している
17	たしかめよう	知③④	思②		知③④思②：小テスト	
18	4章をふり返ろう	知①～⑤	思①②		知①～⑤思①②：単元テスト	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 平行線や角の性質を理解すること。 ② 多角形の角についての知識が見いだせることを知ること。 ③ 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。 ④ 証明の必要性和意味及びその方法について理解すること。	① 基本的な平面図形の性質を見だし，平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。 ② 三角形の合同条件などを基にして三角形の基本的な性質を論理的に確かめたり，証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。	① 今までの学習内容を根拠として，図形の性質を説明しようとする。 ② 日常生活やこれからの学習に生かそうとする。 ③ 振り返りから自己評価・改善をする。